

Visions of Tokyo

夏井孝裕

SCENE 0.0

信じられないほどに何もない舞台。
土囊の山がある。

SCENE 0.1

M1 "Wilson" by Saint Etienne

ヤザキ、登場。

M1 V.J.P.客席の明かりが落ちる

SCENE 1.0

M2 "on off remix" by 半野善弘

ヤザキ、入ってくる。初めてここに来た様子。

静かに周囲に注意を払いつつ、前に出てくる。

ヤザキ、そこにあるものを見て回るが、よくわからない。

ヤザキ

へええええ。

ヤザキ、携帯電話を出して見てみる。

ヤザキ

ああ、ほんとだほんとだ…。そりやそうか…。

もう一度あたりを見回す。

深い息を吐く。

ヤザキ

すごすぎるね、どうも…。

鞆からカメラを取り出す。一枚撮る。フラッシュが閃く。

ヤザキ

誰も。

一枚撮る。フラッシュが閃く。

ヤザキ

誰も。

一枚撮る。フラッシュが閃く。

ヤザキ
いませんか。いませんね。

SCENE 1.1
一枚撮る。フラッシュの中にフジタがいる。

フジタ
……。

ヤザキ、もう一度フジタを撮る。

フジタ、手だけピースサイン。

M3 "overture" by 竹村延和 かすかに

ヤザキ
え…。

今すぐ退出してください！

フジタ
ピースした？ 今どき

フジタ
退出してください！

ヤザキ
はいはい。

ヤザキ、出ていかない

フジタ
あの、

ヤザキ
もうちよつといい。

フジタ
写真とか、困りますから、

ヤザキ
撮影禁止？

フジタ
立ち入り禁止です。

ヤザキ
……正しい。

フジタ
すぐ出てください！

ヤザキ
足がパンパンなんだよね…。

フジタ
え…。

ヤザキ
地下50メートル、今ちよつとのぼれない。

フジタ ……。

ヤザキ ちょっと休まして。

フジタ ちょっとって、

ヤザキ 三十分くらい

フジタ 駄目です！

ヤザキ ……何でここ、閉鎖なの…？

フジタ ……。

ヤザキ ねえ。

フジタ ……いつからここにいるんですか？

ヤザキ あれは東京オリンピックの頃。

フジタ いつからここにいますか。

ヤザキ ……君がね、門のそこ離れてコンビニに行くのとイレカワリ。

フジタ ああ…。

ヤザキ それから鍵で1分、階段で5分？

フジタ 降りてから、ええと、5分以上

ヤザキ たってんじゃない…？

フジタ （突然土下座する）すみませんでした！

ヤザキ はい？

フジタ 今すぐ帰ってください！

ヤザキ いや、何でそんな腰低いんですか。

フジタ まだ大丈夫ですから…。

ヤザキ 何が…？

フジタ ……。

ヤザキ ここ閉めてるのもつたいないよ…。

フジタ はい、

ヤザキ 携帯が絶対鳴らないとかそういうこと抜きで、いいじゃない

い。ここ。年末にベーターベンとか、やれたのに。

フジタ 新聞記者か何かですか？

ヤザキ 新聞記者、鍵壊さないでしょ。

フジタ ……。

ヤザキ だーれだ。

フジタ 出てってくださいよう…。

ヤザキ あれ何？

フジタ 触りました？

ヤザキ 何。

フジタ 触ったら死にますよ。

ヤザキ 子供ですか。ピースするし。

フジタ 本当に死ぬんですよ。

ヤザキ 触ってないから…。

フジタ ……はい、

ヤザキ 死のうかな…。

フジタ やめてくださいね。

ヤザキ 何を、隠してるんですか？

問

フジタ ……別に何も、

ヤザキ どう見ても警備会社の人じゃないし。なーんか、腰低いし。

フジタ 性格です。

ヤザキ いや、なーんか、あるでしょ。誰にもいわないから。

フジタ それ子供ですよ。

ヤザキ 誰がー。どこでー。いつー。

フジタ 何時何分何秒…。

ヤザキ いい人だね。

フジタ いい人、限界です。

ヤザキ ……。

フジタ 制限時間いっぱいです！

ヤザキ 大相撲？

フジタ 俺、もう、上、あがります。あなたはあと一分だけここにいていいです。それ以上たったら私はここを封鎖します。

ヤザキ え、

フジタ 本当です。防火扉も防水壁も閉めます。今度は壊せない。

ヤザキ ……そういう死に方もいいね。

フジタ ……本当にやりますからね！

SCENE 12 フジタ、出ていく。

ヤザキ ……そういう死に方もいい…。

ヤザキ、ぼうつとする

ヤザキ (口に出してみる) 出してくれー。

ヤザキ、考えている

ヤザキ こうやっていくことも、モニターで観察されていたり。

ヤザキ、考えている

ヤザキ ここで死んでいくのも記録にとられていたり。

ヤザキ、謎のものに近づくとヤザキ 触ったら死にますか…。

ヤザキ、触ろうとする

ヤザキ (わざとらしく) 触っちゃおうかなー！

物音。

ヤザキ やっぱりだ。ねえ…！ そんなにやばいものなの…？

突然、遠くからサイレンが鳴る。

ヤザキ 封鎖…？

ヤザキ、出口に歩いていく

SCENE 1.3 男が出てくる。

ニカイドウである。かなり具合が悪そうである。

M4 "call past rain" by world's end girlfriend

ニカイドウ ……。

ヤザキ ええつと…。

ニカイドウ 助けてくれ…。

M4 V.U.P.

ニカイドウ、崩れ落ちる。転換

SCENE 2.0 土嚢を担いで歩いてくるフジタ

心身ともに疲れ切っているらしい

土嚢の山にまた一つ、土嚢を投げおろす。へたりこむ。

フジタ (意味もなく叫ぶ)

誰も答えない。立ち上がる。土嚢の山を見つめる。

フジタ (意味もなく叫ぶ)

誰も答えない。M4 VDOWN.

土嚢をとりに行こうとした瞬間、若い男と目が合う。

SCENE 2.1 男、入り口で楽器のケースを持って立っている。

フジタ ……。

ニカイドウ こんばんは…。

フジタ ……。

ニカイドウ すいません、あの、上ですつと待ってたんですけど誰もいなかったから

フジタ 何ですか…。(ニカイドウの視線を遮ろうとする)

ニカイドウ 忘れもんです…。楽譜をね…。別に明日でもいいんですけど…。

万一出てこないとたいへんだから…。(土嚢の方を見ようと頑張る)

フジタ ああ…。こつちもたいへんなんですよ…。(必死にブロックす

る)

ニカイドウ ……。(止まる)

フジタ ……。(止まる) 明日、くるんですか。

ニカイドウ はい…。

フジタ ……。

ニカイドウ ……え？

フジタ それは無理、かもしれないような気がする感じ。

ニカイドウ だって本番ですよ。

フジタ はあ…。

ニカイドウ、フジタをかわして行こうとする

フジタ 待ってください。

ニカイドウ いや、あの、電車なくなっちゃいますから、

フジタ それもたいへんだ。

ニカイドウ ちよつと…！

フジタ はい、

ニカイドウ ということ？ 何あれ。ちゃんと片づくの、明日までに。

フジタ 俺、言われたとおりにやつてるだけなんだよ…。

ニカイドウ 誰に。フジタ ……。

ニカイドウ 楽譜さ、あのへんなんだ、多分。埋めちゃってないか…。

フジタ ……。

ニカイドウ お前、誰。

フジタ、いきなり殴りかかる

ニカイドウ、鮮やかにかわして取り押さえる

フジタ 痛い痛い痛い

ニカイドウ サンボやっててよかったー！

フジタ 痛いから痛いから

ニカイドウ オーケストラなめんなよ

フジタ なめてないなめてない

ニカイドウ どうすんだよこれ。

ニカイドウ、フジタを解放し、土囊の山に近づく。

フジタ、置いてある楽器のケースに飛びつく

ニカイドウ ？

フジタ さわんな！

ニカイドウ は…。

フジタ いうとおりにしないと…何かこう、凄いことするぞ！

ニカイドウ やってみろコラ。

フジタ いうとおりにして帰れよ…。楽譜は…。ごめん、多分あつ

た…。埋めたよ…。行くな！ こっちは遊びじゃねえんだ…。

許可も出てる…。コンサートは、中止だよ…。

ニカイドウ いま、何てつた…。

フジタ 中止だ…。このホールは閉鎖になる…。文句は上の奴にいえ

よ…！

ニカイドウ 遊びつていったか…。

フジタ ……。

ニカイドウ 置けよ…。音がくるうだろ！

フジタ ……。

フジタ、楽器を置く

ニカイドウ 遊びじゃねえよ…。

長い間

ニカイドウ いろんなホールで、やってる。いろんな国の、いろんな街で。

フジタ ……。

ニカイドウ 何でだよ…。俺、明日みんなに何ていやいいんだよ…。

フジタ 電気系統のトラブルって、明日発表になる…。

ニカイドウ 電力会社のホールがか。何だそれ。ついてんじやん…。

フジタ ……。

ニカイドウ 俺たち電気いらないからさ…。蝋燭でやれんだよ…。

フジタ ……。

ニカイドウ ダメなホールはいっぱいあったけど、ここまでの初めてだぞ…。

フジタ もう、どうにもならないんですよ…。

ニカイドウ 遊びだと思っただよな、結局。

フジタ いや、

ニカイドウ 上の人がさ…。説明は…？

フジタ すいせんけど、口が裂けても。

ニカイドウ ……。

フジタ 帰ってください…。

ニカイドウ (楽器を拾い上げる) 一回、やらしてくれよ…。

フジタ ええっ

ニカイドウ 違う。演奏。

フジタ ああ…。

ニカイドウ 一曲やったら、帰るよ…。

ニカイドウ、楽器を持って土囊の山に登る
フジタ、人の影に気づく。クラモトである。

SCENE 2.2

ニカイドウ、楽器を構える

クラモト、背後からニカイドウに土囊を振り下ろす。
山から崩れ落ちたニカイドウを繰り返し殴る。

フジタ 殺しちゃうんですかー。

クラモト 殺しちゃうんですよー。

フジタ 俺、何でも片づけられると思っただよ…？

クラモト 思っただよーす。

静かになる

クラモト どうですか。

フジタ どうですつて

クラモト 頼れる、理想の上司ですよ、あたしつて。

フジタ …コメントしかねるなあ。

クラモト （土囊の方を指し）まだ必要ですか。

フジタ いや、こんなものでしょう。

クラモト ありがとうございます。

フジタ ……これなんとかしたら、帰って寝ていいですか。

クラモト 戻ってきてくれますよね。

フジタ ……はい。

クラモト 明日は少し、騒ぎになります。新橋からも応援に来ますが、

基本的には私が表に立ちます。ホールは、さすがにね…。

フジタ はい、

クラモト この職員に委託することはできません。警備会社にもさすがにね。

フジタ はい。

クラモト 門番が必要です。わかってる人で。

フジタ 私の責任ですから。

クラモト 少しの間です。

フジタ だといいですね。

クラモト 前向きにいきましょう。健康に、気をつけてください。

フジタ それは優しさなんですか、ギャグなんですか。

クラモト 素直にとりましょうよ。じゃ、すいませんが。

クラモト、出口へ。

ニカイドウ、立ち上がる

フジタ あ、

ニカイドウ おおおおおお…。

クラモト …。あと、頼みましたよ…。

M4 V.U.P.

転換

SCENE 3.0 土囊の山にニカイドウ M4 FO.

ヤザキ、出てくる

ヤザキ ほんとに閉めるか、普通…！

ニカイドウ (苦しげに笑う)

ヤザキ ねえ、

ニカイドウ ん。

ヤザキ 俺たち、出られないの。

ニカイドウ ん。

ヤザキ 嘘だといつてくれー。

ニカイドウ 後ろには気をつけなよ。

ヤザキ え(振り返る)

ニカイドウ 後ろに気をつけないと、俺みたいになる…。

ヤザキ ……あの人みたいにしないとね…。

ニカイドウ え？

ヤザキ 後ろに立った人はすぐ殴る…。

ニカイドウ それがいいな。

ヤザキ それ、大丈夫なんですか…。

ニカイドウ 肋骨だな…。

ヤザキ はあ…。

ニカイドウ ブラスじゃなくてよかった…。

ヤザキ はい？

ニカイドウ トランペットだったらもう終わりだった…。

ヤザキ ……。

ニカイドウ 心の中で、どっちにしろもう終わりだと思つたら。

ヤザキ いやいやいや。

ニカイドウ 絶対、地上に戻るからな…。戻ったら下倉楽器で一番高いや

つ、買い直してやる…。

ヤザキ ……。

ニカイドウ 領収書は絶対ここに回す。上様でいいかな。

ヤザキ 細かいなあ。

ニカイドウ 空欄にするか。誰が悪いのか、わかんねえからな…。

間

ニカイドウ 外、出ような…。

間

ニカイドウ ねえ…、名前なに。俺、二階堂。

ヤザキ …矢崎です。

ニカイドウ (低い声で) 矢崎さん、なんでここきたの。職業何。

ヤザキ ……それはちよつと、

ニカイドウ (低い声で) 電気屋だ。

ヤザキ え、

ニカイドウ (低い声で) あいつに正体ばれてないだろ。

ヤザキ まあ、

ニカイドウ (低い声で) じゃあ電気屋だ。第二種電気工事士。な。

ヤザキ 何ですか？

ニカイドウ (低い声で) 俺もよくわからんけど、あれ、電話線の工事できるやつ。裏の部屋の電話線復活させたつてことにしてハッ

タリかませばちよつとどきつとするだろ。

ヤザキ ああ、そういうことか…。

ニカイドウ やるだけやってみよう。な。やろう。あそこの奥の部屋に電話あるから、行って、戻ってきてくれ。で、「これ直せまよー」つて。

ヤザキ はあ…。

ニカイドウ 早く。

ヤザキ はい…。

ヤザキ、奥に姿を消す。すぐ戻ってくる。

ヤザキ これ直せますよー。

ニカイドウ ほんとー？

ヤザキ …ほんと、ほんと。余裕ですよー。

ニカイドウ そうかー。助かったー。電気屋さんすげー！

ヤザキ プロですからー。第二種電気工事士ですからー。

ニカイドウ じゃあ、やってくださいーい。10分ぐらいでできますー？

ヤザキ ……プロですからー。

ニカイドウ これで助けを呼べるよねー。

ヤザキ そうですねー。

ニカイドウ でもたいへんだなー。ここの人たち捕まっちゃうんだろうなー。

ヤザキ そうですねー。

ニカイドウ そつと僕たち逃がしてくれて口止め料くれるなら黙ってあげないこともないけど、もうしょうがないよねー。

ヤザキ そうですねー。

ニカイドウ いやー、電気屋さんがいて助かったなー。

ヤザキ プロですからー。あ…。

SCENE 3.1 フジタ、現れる

フジタ どつからつつこんでいいかわかんねえよ…！

二人 ……。

フジタ なんだ、おい。第二種電気工事士って…。それ電源工事の資格だろ…。それ以前に電気屋さん、電話工事しないだろ。

ヤザキ え…。

ニカイドウ ごめん。

フジタ 直すならエレベーター直せ。

フジタ、食料の入ったビニール袋を投げ捨て、去る。

SCENE 3.2

ニカイドウ オッケー！

ヤザキ 何がですか！

ニカイドウ そう簡単には隙を見せないよ。

ヤザキ ちよつと待つてくださいよ…。

ニカイドウ ストックホルム・シンドローム。

ヤザキ ……はい？

ニカイドウ 人質と長く一緒にいると人質と犯人の間に親和力が生まれて、人質が人質じゃなくなるってやつ。

ヤザキ ……あきれてものがいえない。

ニカイドウ とにかく狙いはそこ。あいつのココロの弱さを最大限に利用する。あいつ、殺せなかったんだよ、俺を。だから殴りかかったりしないで、仲良くやって時期を待とう。

ヤザキ ……時期を待つ。

ニカイドウ 非現実的だと思うだろ。でもな。あいつの中で、俺たちを死なせたくないっていう気持ちが消えたらそこでアウトだからな。

ヤザキ ……はあ。

ニカイドウ 今みたいでいいんだよ。愉快的奴らだと思ったろう。

ヤザキ そうかなー。

ニカイドウ そうだよ。

ヤザキ 俺の中では不信感が…。

ニカイドウ 悪かったな。俺は嬉しいよ。あんたが来てくれて。

ヤザキ ……次は女の人、来ませんかねえ。

ニカイドウ 何の解決にもなんないだろ。

ヤザキ そうですけど…。

ニカイドウ とにかく生き延びよう。食べ物とつてくれよ。

M5 "CASTALIA (Motor Headphone remix)" by YMO

ヤザキ、食べ物を出し、ニカイドウに渡す

ニカイドウ 東京の底へ、ようこそ。

SCENE 3.3

M5 VJUP ニカイドウ、食べ物を食べ、眠る。

ヤザキ、ニカイドウを見つめる。

ポケットからカメラを出し、ニカイドウを撮る。

ニカイドウ、目を醒まさない

ヤザキ、ニカイドウに寄り添い、腕をいっぱいに伸ばして二人
の写真を撮る。 転換

SCENE 4.0

ヤザキ かし。

ニカイドウ ……ん。

ヤザキ 理由がよくわからない。

ニカイドウ これが、何かなんだよ。

ヤザキ これ全部人間やめられる薬だったりしたら、すごいですよ
ね…。

ニカイドウ ……何にも思いつかないか…？

ヤザキ え？

ニカイドウ いいよ。

ヤザキ え、なんですか。

ニカイドウ これは単なる土囊。問題はこの下。

ヤザキ ……この下。

ニカイドウ あいつらの態度からすると、当たってる気がするんだ…。

ヤザキ ……。

ニカイドウ おとといな、ホルンの女の子口説いてたんだよ…。

ヤザキ ……なんの話ですか。

ニカイドウ 楽譜の書き込み、見せてほしいっていうから貸したんだ。は
じつこにメッセージつけてさ。で、リハーサルのと会いに
いったら、「先に帰りますごめんなさい楽譜は元の席において
ありますそこに返事を書いておきました」って。

ヤザキ あいたたた。

ニカイドウ そんなの見ないでもわかってるからいったん駅まで行って切符
買って帰ろうとして、でも考えたんだな。次の日の本番前に、
俺はあの楽譜を開いて、鴻野坂さんのメッセージ読むのかっ
て。それもどうよ。

ヤザキ はい。

ニカイドウ その楽譜、まだここに埋まったままだと思っただよね。

ヤザキ ……俺に、掘り返せと。

ニカイドウ やろうとするとな、すぐとんでくるんだよ。

ヤザキ あの人がですか。

ニカイドウ あいつか、もう一人。俺のあばら折ったやつ。ずっとモニ

ターで見てるんだな。この下に埋まってるものに手をつけよう
とするとすぐ出てくる。

ヤザキ …触ったら死ぬ。

ニカイドウ あ？

ヤザキ 俺、そういわれましたよ。触ったら死ぬって。

ニカイドウ ということはだ…。触ったら死ぬな。

ヤザキ そうですって。

ニカイドウ それたぶん、ほんとだぞ。

ヤザキ …別にいいですよ…。

ニカイドウ なんで…。

ヤザキ どかしてみましよう。

ニカイドウ やめたほうがいい。

ヤザキ はつきりさせたほうがいいでしょ…。

ニカイドウ ……。

ヤザキ、土囊の山を崩し始める

ヤザキ おお。ニカイドウ ……。

ヤザキ ブツが、見えましたぜ。

ニカイドウ ……おい。

ヤザキ ブツが、出しにくい…。

ニカイドウ ちよつと待て。それ絶対開けるなよ。

ヤザキ 開けるなっていわれるとー。

ニカイドウ いや、冗談じゃないんだって。

ヤザキ、中から銀色のトランクを見つける

SCENE 4.1 クラモト、現れる。ゴルフクラブをもっている

クラモト 今晚はー。

ヤザキ 今晚は…。

ニカイドウ それ何だよ…。

クラモト 好きなんですよ…。パシッといきますよ…。

ヤザキ いいですねー…。

クラモト それ、さわらないでください。私のです。

ヤザキ ……一割わけて。

クラモト パシッといきますよ…。

ヤザキ ケチ…！

クラモト はい、戻す戻す。サクサク戻す。

ヤザキ、戻す。

クラモト ありがとうございます。

ヤザキ 名前、なんていうんですか。

クラモト いいたくありません。

ヤザキ じゃあボブ。

クラモト ……。

ヤザキ、クラモトに迫る。

ヤザキ 俺もゴルフやりたいなあボブ。

クラモト ……。

SCENE 4.2 クラモト、ゴルフクラブを振り上げる

フジタ、駆け込んでくる。バットを持っている

フジタ ストップ！ それ絶対ダメですよ…！

ヤザキ …野球もやりたいなあ。

クラモト 藤田くん、君はあれですね。ある分野の学習能力に問題があるかもしれませんがね。あのときと同じです。私の指示と違う方法で無意味に頑張って結局仕事を増やしてしまっています。もう一度いいですけど、最後の手段は最初に試した方がいいですよ。そのバットはなんのつもりですか。

フジタ ……最後から二番目の手段ですよ…！

クラモト ……かなしいなあ。（クラブを下ろす）

フジタ すいません…。

ニカイドウ 藤田さん。

フジタ あ、名前ばれた…。

ニカイドウ この下にあるの、ウランかプルトニウムか、そういうのでしょ。

フジタ ……。

クラモト そういうのです。

ヤザキ、ザリガニのようにあとずさる。

ニカイドウ 遅い！ それ遅い！

ヤザキ だつて！

クラモト 大丈夫。

ヤザキ なんで！

クラモト そうしている限りは基準値以下ですから。

ヤザキ いやいやいや、そんなさあ…。

ニカイドウ 大丈夫なら上でいいだろ。

クラモト 万一つてことがあるでしょ。東京のど真ん中ではさすがにね…。

ヤザキ、すべてを理解した

ヤザキ ああ…。

ニカイドウ 何。

ヤザキ そういうことか…。何かあっても、地上の出口ふさげばいいってことか…。

ニカイドウ お前、ほんと遅い。

ヤザキ どうせなら、地下核実験やろうよ…。

クラモト、出ていく

フジタ どうしたんですか。

クラモト 上で、泣いてます。

フジタ なぜ。

クラモト 藤田くん、純粹に安全面だけを考えてください。危険ですよ。この人たち。

フジタ ……。

クラモト、去る

SCENE 4.3 M6 "PERSPECTIVE (SUGIZO REMIX)" by YMO

フジタ、あとを追おうとする。

ニカイドウ 藤田くん。

フジタ ……はい。

ニカイドウ 藤田くんのミスなんだ。これ。

フジタ ……。

ニカイドウ 俺たちさ、ここから出られるよね。藤田くんのせいでここで死んだりはしないよね。

フジタ、無言で頷く

ニカイドウ いつ、出られんの。

フジタ 今、処分の手配をしてるんですよ…。

ニカイドウ はい。

フジタ 外部に情報が出なければ安全にいけるんです。それまでは……。

ヤザキ それまでは。

フジタ すみません…。

フジタ、出ていく

SCENE 4.4

ヤザキ はつきりしましたね…。

ニカイドウ しすぎだよ…。

ヤザキ 現実感がない…。

ニカイドウ ……。

ヤザキ 二階堂さん…。

ニカイドウ ん。

ヤザキ よくそこ、寝てられますね…。

ニカイドウ 大丈夫だろ。漏れてたら処置はこんなもんじゃない。あいつら
だつて降りては来ない筈だ。

ヤザキ そうかもしれないけど…、怖くないんですか。

ニカイドウ こう痛いとき、恐いとかないな。

ヤザキ はあ…。

ニカイドウ 俺も現実感がな…。あばらがいてえのはわかるが…。

ヤザキ ジュラルミンのケースに入ってましたよ。たぶん鉛かなんかも
入ってるんですね。すごい重さでした…。

ニカイドウ 触ると死ぬ…。

ヤザキ 現実でーす。

ニカイドウ、倒れ込んで眠る。

SCENE 4.5

ヤザキ、小さなメモ帳を出し、書きつける

ヤザキ

エントランス。立ち入り禁止の貼り紙。動かないエレベーター。非常灯の明かり。長い長い階段。鍵。地下の音楽ホール。

ヤザキ、書き続ける

ヤザキ

地下の音楽ホールにある土嚢。土嚢の山。その下にある、何か。ジュラルミンのトランク。そこにある、何か。書き込みのある楽譜。肋骨の折れた男。

ヤザキ、言葉を探す

ヤザキ

サイレンの音。長い長い階段。閉まる防火扉。反響する足音。汗。非常灯の明かり。監視しているモニター。壊れたヴァイオリン。

ヤザキ、言葉を探す

ヤザキ

発信音のしない電話。ストックホルム・シンドローム。ゴルフクラブ。最後から二番目の手段。金属バット。学習能力。基準値。

ヤザキ、言葉を探す

ヤザキ

東京の、底。

M6.VUP 転換

SCENE 5.0 ニカイドウ、ヤザキ、寝ている。

フジタ、ジュラルミンのトランクを持って奥へトランクを置き、
出口へ

ニカイドウ、気づく

ニカイドウ ……お早う。

SCENE 5.1 フジタ、答えずに出ていく

ニカイドウ ……。

ヤザキ、新しいトランクに気づく

ニカイドウ お…？

ヤザキ ……なんですか…。

ニカイドウ おい、起きろ…。

ヤザキ はい…。

ニカイドウ あれ。

ヤザキ ……おおおおおおお？

ヤザキ、はねおきる。

ニカイドウ ……すごいことになってきた…。

ヤザキ ……すごすぎますよ…。

ニカイドウ さわんなよ。

ヤザキ さわりませんけど…。

SCENE 5.2 フジタ、土嚢を担いで入ってくる

ヤザキ ……。

フジタ ……どいて。

ヤザキ これなんですか。

フジタ ……増えました。（土嚢をスリッパの上に乗せる）

ヤザキ いやいやいや、増えましたって。

フジタ さわらないでね…。

フジタ、次の土嚢をとりに行く

ヤザキ ちょっと待てよ…。あれ、大丈夫なの…？ 放射能出てない？

フジタ ……放射線。

ヤザキ え？

フジタ 放射能っていうのは放射線を出す能力や性質のことをいう。

ヤザキ なに？

フジタ 放射能が出るっていう日本語はない。

フジタ、黙々と土嚢を運び続ける

ニカイドウ ……大丈夫なのかっていつてんだよ。

フジタ 君たちがさわらなければ。

ヤザキ ……そういうこといえばびびると思ってる？

フジタ （足を止める）……今日の分と、前からある分を合わせると、臨
界量超えてる。

ヤザキ え？

フジタ 少しずつなら安全でも一カ所に一定以上集めると、核分裂反応を
起こす。いつかの事故と同じことが、ここでおこる。

ヤザキ ……。

フジタ わかったらさわらないでね。

フジタ、作業を再開しようとする

ヤザキ ……。

ニカイドウ 藤田くん…。

フジタ、無言で作業を続ける

ニカイドウ 藤田くん…。

ヤザキ 呼んでるよ。

ニカイドウ 藤田くん…。

フジタ なんですか。

ニカイドウ 俺さあ、もう限界みたい…。

フジタ ええ？

ニカイドウ 病院連れてつてくれよ…。

間

フジタ それ、無理なんですよ…。

ヤザキ だって死んじゃうよ。

フジタ ……。

ヤザキ 病院、連れてかないと。

フジタ ……そうすけど…。

ヤザキ 昨日から熱も出てるんだよ。痛いですかー。

ニカイドウ 痛い…。

ヤザキ ほら。

フジタ ……。

ヤザキ 疑ってる？

フジタ 電気屋さん。

ヤザキ 違います。

ニカイドウ あれは…。

フジタ ……。

ニカイドウ あれは、ちよっぴりお茶目なジョークだ…。

ヤザキ 余計なこといわないで黙ってて。

フジタ ……電気屋さん。

ヤザキ 藤田さん。

フジタ おつと…。

ヤザキ 現実を見ようよ…。肋骨が折れて、熱も出てるんだ。すぐに専門の医者に見せないと、手遅れになる。そのくらいわかるだろ。

フジタ ……。

ヤザキ 痛いですかー。

ニカイドウ 痛い。

ヤザキ な…！

フジタ それはもういいです…。

ヤザキ どうすんだよ…。死ねばいいと思ってるの。

フジタ ……。

ヤザキ 人の命と引き替えにしてまで守る秘密なの、これは？

フジタ …俺は、逮捕されてもいいと思ってる…。

ヤザキ おう…。

フジタ こういうやり方は好きじゃないんだ…。

間

ヤザキ いや、だから？

フジタ 俺ひとりで背負えることじゃないんだよ…。何かあるとするだろ、冷却水が漏れたとか、振動が激しくなつて非常停止したりとか、アラームが鳴つたりとか…。そのときな、日本中の関係者が非難を浴びるわけだ。その子供もな。何にもしてないのに学校で、人殺しの息子みたいな扱いを受けて、いじめられる…。

ヤザキ　それがなんだよ。

フジタ　研究も止まる。予算が削減されて、安全を確保することが逆に難しくなる。優秀な人材が他の分野に出ていく。立場が逆だったら、お前も同じことをたぶんやってる。

ヤザキ　やってない。

フジタ　そつとしておきたいんだよ…。

ニカイドウ　俺…。

フジタ　……。

ニカイドウ　喋らないよ…。あんたたちのいうとおりにするさ…。病院いかし
てくれよ…。ここにいとんどん悪くなつてくような気がするん
だ…。陽の光を浴びたい。花が咲いてるのとか見たい。天気は…？

フジタ　え…。

ニカイドウ　天気はどうなの…。

フジタ　……朝から土砂降り。

ニカイドウ　全然わかんねえな…。

フジタ　昨日までは平気だったじゃないですか…。

ニカイドウ　そんなこといったって、いてえものはいてえんだよ…。

ヤザキ　藤田さん。いま動かないと一生人殺しだよ…。俺、残るから、代
わりに。

フジタ　え？

ヤザキ　人質に。なるよ。俺。二階堂さんが約束破ったら俺が死ぬから。

フジタ　そんなの意味ないだろ…。

ヤザキ　ないよ！

フジタ　……。

ヤザキ　あいっ、よんでくださいよ。あの人と話しますから。ボブと。

フジタ　それは無理だな…。絶対許さない。

ニカイドウ　藤田くん、騙されてんじゃないの。あの人に。

間

ヤザキ …俺も、そう思うな。

フジタ 何いつてんだよ…。

ヤザキ 違うならいいけどさ…。

長い間

フジタ 歩ける…？

間

フジタ 歩ける…？

ニカイドウ 無理…。

フジタ 担架持ってないんだよ…。上まで頑張れ。（ニカイドウに腕をと
り、肩を貸す）

ニカイドウ おお…。

フジタ 手、貸してくれよ…。

ヤザキ ……

。

ニカイドウ、フジタとヤザキにぶら下がって

ニカイドウ ねえ…。

フジタ ん？

ニカイドウ 東京で一番看護師さんが可愛い病院ってどこ…。

フジタ どこかなあ…。

ヤザキ 女子医大とか。

ニカイドウ じゃあそこでいいや…。

ヤザキ 好きだなあ。俺もお見舞いにいけたら…

SCENE 5.3

出口にクラモトがいる

フジタ ……。

クラモト よいしょー！

クラモト、ニカイドウを刺す

M7 "SINE WAVE" by MOGWAI F.I.

ニカイドウ ……いてえよ…。

崩れ落ちるニカイドウ。 M7 V:UP

SCENE 6.00 M7 V:DOWN

クラモト 初めまして。よく来てくれました。あなたのような人材が来

てくれるとは実に心強い。よろしくお願いします。

フジタ (握手をする) 初めまして。

M7 V:UP

SCENE 6.01 ニカイドウ、ホールに入ってきた

M7 V:DOWN

ニカイドウ うわー。(手を叩く) すごいですね、ここ…。ヴィヴァルディは
合わないような気もするけどねえ…。

M7 V:UP

SCENE 6.02 M7 V:DOWN

フジタ すみません…すみません…！

クラモト 大丈夫です。ここを、貰いましょう。今夜中に移管します。指揮
をとってください。このホールを貯蔵庫にしましょう。

M7 V.U.P

SCENE 6.03 フジタ、土嚢を担ぎ下ろす M7 V.DOWN

フジタ (叫び)

ニカイドウ、現れる

ニカイドウ こんにちは…。

M7 V.U.P

SCENE 6.04 M7 V.DOWN

フジタ だって無理ですよ…。

クラモト 無理でしたか…。ちゃんと片づけてほしかったなあ。まあ、しょうがないですね。でも、地上に出したら終わりですよ…。

M7 V.U.P

SCENE 6.05 M7 V.DOWN

ヤザキ だーれだ。

フジタ 出てってくださいよう…。

M7 V.U.P

SCENE 6.06 M7 V.DOWN

クラモト 藤田くん、ちょっと…。な、何で人増えてんですか。

フジタ ……増えました。

M7 V.U.P

SCENE 6.07 M7 V.DOWN

ニカイドウ 俺、地上出たらさ…。風俗行くね。ソープとヘルス、代わりばんこに行くね。

ヤザキ 頑張ってくださいい。(おしんでしまえ。)

M7 V.U.P

SCENE 6.08 M7 V.DOWN

クラモト フランス語、勉強してください。向こうで君を必要とします。うまく片づいたら、あっちで研究が続けられる筈です。

フジタ ……うまく片づいたら。

M7 V.U.P

SCENE 6.09 M7 V.DOWN

ニカイドウ 俺たちさ、ここから出られるよね。藤田さんのせいでここで死んだりはしないよね。

フジタ、無言で頷く

ニカイドウ いつ、出られんの。

M7 V.U.P

SCENE 6.10 クラモト、フジタにトランクを手渡す

M7 V.DOWN

フジタ ……あの…。それ、何ですか。

クラモト ……増えました。

SCENE 6.11

ニカイドウ 雪、降ってんのかなあ…。矢崎さん、天気予報の真似して！

ヤザキ 東京地方は…。北西の風、曇りのち雨、ところにより雪でしょう。

SCENE 6.12

フジタ ほんとに、ほんとに、俺に隠してることないですか。

クラモト ないですつてば。

SCENE 6.13

ヤザキ ……すごい熱ですよ…。

ニカイドウ そうか…。じゃあもう、ダメかなあ…。矢崎さん、お医者さんの真似して。

M7 V.U.P

暗転

SCENE 6.14

フジタ、ニカイドウの死体を抱き起こすヤザキ、見ている

暗転

SCENE 6.15

ヤザキ、一人。さっきと同じ姿勢。 M7 F.O.

SCENE 7.0 ヤザキ、メモをとっている

ヤザキ 増えるトランク。土嚢。放射能と放射線。臨界量。核分裂反応。

ヤザキ、メモをとっている。

フジタ、見ている

ヤザキ 熱。肋骨。冷却水。いじめられる子供達。陽の光。陽の光…。

花。

フジタ それ、何ですか…。

ヤザキ 花。土砂降り。聞こえない雨音。

フジタ 何書いてるんですか…。

ヤザキ ……可愛い看護師さん…。…ナイフ。なんで死んだのかな。

フジタ ……。

ヤザキ なんで死んだんだろう。何のためにだろう。生きようとしてたのに。生きて、新しい楽器買って、女の子追っかけようとしてたのに。頑張ってたのに。

フジタ ……。

ヤザキ 何で死んだんだろう。

フジタ ……何で逃げないんですか。

ヤザキ ……。

フジタ 片づけてるあいだ、逃げられたでしょう…。

ヤザキ ……。

フジタ 警察にもいけたのに。

ヤザキ ……。

フジタ 名前、なんていうんですしたつけ。

ヤザキ コンスタンティン3世ジュニア。

フジタ 電気屋さんつてよびますよ。

ヤザキ それでいいや…。

フジタ ……。

ヤザキ (メモをとる) コンスタンティン3世ジュニアという名で電気屋で。

フジタ あなたのことがわからないな…。

ヤザキ 俺も藤田さんのことわかんない

フジタ ……。

ヤザキ やばいものを隠して、やばい人の下で働いて、スリル満点な藤田さん。わかんないね…。

フジタ ……。

ヤザキ 二階堂さん…。死なせたくなかったな…。

フジタ ……。

ヤザキ 藤田さん、アレルギーもってる？

フジタ ……花粉症ですけど。

ヤザキ あれつて、安全なものに過剰反応するでしょ…。卵とか、猫とか、金属とか…。蕎麦なんか死んじゃうよね…。ピーナツも死ぬんだっけ…。

フジタ ……何の話ですか…。

ヤザキ 免疫の問題かな…。関係者の子供いじめたりするのとかさ…。そんなことしても安全が確保されるわけじゃないのに…。

フジタ 結婚できなかったやつ、いましたよ…。向こうの親族が「子供にどんな影響があるかわからない」って…。

ヤザキ でもいまは、過剰反応への過剰反応が起きてる…。

フジタ ……。

ヤザキ 表に出るのが怖いのはそういうこと…。それで二階堂さんは死んだ…。

フジタ、出ようとする

ヤザキ 違うよね。そんなもんじゃ人は死なない。

フジタ ……。

ヤザキ 蕎麦食べて死ぬことはあっても、そんなことだけじゃ死なない。
フジタ へんな理由で死ぬもんですよ…。

ヤザキ この場合は違うよ…。それくらいわかる…。藤田さんは、おかしいと思わないの。

フジタ …… 思いますけど。

ヤザキ 増えた分は、藤田くんのせいじゃないよね。

フジタ …… ええ。

ヤザキ そこには何かあるでしょ。

フジタ ……。

ヤザキ 俺さ、そういうのがはつきりしないと死ねないんだよね…。誰に、どういう理由で殺されるのか。

フジタ ……。

ヤザキ 藤田さん。さあ吐け。

フジタ 何を。

ヤザキ 藤田さんが知ってて、俺が知らないこと全てをさ。吐いて。俺が安心して死ねるように。

フジタ 死にませんよ。

ヤザキ 何で。

フジタ これ以上犠牲者は…

ヤザキ 君がそう思ってもさ。死ぬときは死ぬよ。悪いけど。

フジタ …… 悪いと思っただけでしょ…。

ヤザキ うん。

フジタ 死なないでください…。

ヤザキ 君の上司は殺そうと思っただけ、君は死なないでほしいと思っただけ。

フジタ ……。

ヤザキ どつちも都合のいい話だよ…。

間

フジタ 俺、何に見えます…。

ヤザキ …なんだっけ、それ…。ロールシャツハ・テスト…？

フジタ いや、インクの染みじゃないです、俺。

ヤザキ ……。

フジタ 警備の人には見えないって、最初いいましたよね…。何に見えるんですか、俺は…。

ヤザキ 鏡ないの。

フジタ 俺は、俺にしか見えないから。

ヤザキ 仕事間違えた人…？ 上司間違えた人か。

フジタ あれ、上司じゃないんですよ…。

ヤザキ ええっ…？

フジタ 親会社の人間です。

ヤザキ そんなに頭あがらないもののなの。

フジタ そういうんじゃないですけど…。

ヤザキ じゃあ、警察いきなよ…。この人ひと殺しですって。

フジタ ……。

ヤザキ 会社の犬に見えるさ、そりゃ…。

フジタ ……。

ヤザキ そういう人に自分の名前よんでほしくないな…。

フジタ ……はい。

ヤザキ 俺の身に何かあっても、もう助けないでいいからね。

フジタ ……。

ヤザキ 俺のカメラに写ってる写真も、俺のメモ帳も、君は見ないでね。

この下に埋まつてる二階堂さんの楽譜も、触らないでね…。君はいい人でいようと思っていながら結局会社の都合でしか動いてないマシンだから、人間のフリしないでマシンらしくしててよ…。

フジタ ……。

ヤザキ 死んでるやつに死ぬなっていわれると腹立つんだよ…。

間

ヤザキ、トランクに手をかける

フジタ ……なんですかそれ。

ヤザキ なんだろう。

フジタ いいましたよね、それやるといやーな死に方しますよ。

ヤザキ 贅沢いわないよ。

フジタ やめてくださいよ…。もうすぐ処理の態勢が整う筈なんです。
それだまされてるつて。

フジタ ……何いってんですか…。

ヤザキ これさ、廃棄物じゃないんでしょ。使えるんでしょ。

フジタ ええ…。

ヤザキ 金になるんだよね…。

間

ヤザキ だまされてるよ…。あいつは、処分の手だてを講じてるんじゃない。
い。高く買ってくれる客を探してるんだ。違う？

フジタ ……。

ヤザキ 今の量が集まるまで動かさなかったのは、つまりそういうことだ
ろ…。

フジタ ……。

ヤザキ (怒鳴る) しっかりしろ！

ヤザキ、トランクを持ち上げ、前に持ってくる

フジタ やめろよ…開けるだけでもやばいぞ…。

ヤザキ 逃げなよ。

フジタ え…？

ヤザキ いいからさ、上あがつて、閉鎖しちゃつてよ…。

フジタ いや、それは

最悪だけどき、何百人死ぬかわからんでしょう。悪用されないようにしようよ、なんでもいいから。合ってるだろ…？ 大きく間違っではないだろ…？

フジタ いや、もつと何かほかの手が

ヤザキ ないでしょ…。俺、いいからね。ほんとに。

フジタ ……。

ヤザキ 助けようとしてくれたことは感謝してる。でもさ、あんた、やらなきゃいけないことをわかってないんだよね…。

フジタ どうしてそう、死にたがつてるんだよ…。

ヤザキ どうしてかな。

フジタ 死なないでくれよ…。

ヤザキ ……なんで…。

フジタ 死なないでほしいんだよ…。

ヤザキ なら、上に出ようよ…。地上に出て、ごめんなさいっていえよ…。

フジタ ……。

ヤザキ 怖い物隠し持っていましたって。隠そうとして一人殺しちゃいましたっていえよ…。開けると、どうなるの。

フジタ ……。すぐに吐き気が出る。皮膚が腫れていく。鼻血とか、歯茎とかそういう出血もある。そうなたときには血液も甲状腺も回復不能なダメージを受けてる。絶対に助からない。

ヤザキ ……下のやつと両方開けて混ぜると何だっけ？

フジタ ……臨界反応が起こる。地上なら東京が壊滅するぐらいだ。

ヤザキ 悪用されたらそうなるんだよね。

フジタ されたらですね。

ヤザキ 藤田さん、逃げな。

フジタ できませんよ。

ヤザキ 一緒に死にますか。

フジタ できませんでば。

ヤザキ あんた子供かよ…！

フジタ ……ただ、安全に処理しようとしてるだけですよ…。

ヤザキ ほんとにそうかどうか、試してみなよ…。

ヤザキ、トランクから手を放す

ヤザキ あいつが全く嘘ついてなかったら、黙って出てって、石になる。

全部藤田さんのいうとおりにする。あいつが嘘ついてたら…。

フジタ ……。

ヤザキ この中身は俺のもの…。

間

M8 "Finale" by 竹村延和かすかに

フジタ ……確かめてみます…。

ヤザキ (うなづく) いつ…。

フジタ しばらくここには来ない筈です…。

SCENE 7.1 クラモト、現れる

フジタ あれれ…？

クラモト お待たせしました。

フジタ ……青森じゃなかったんですか。

クラモト 行く前に話がついちゃいました。出せますよ…。終わりです。全部出しましょう。汚染はありませんでしたか。

フジタ ……まったく。

クラモト　ほんと、すいませんでしたね。もう車が上に来ます。すぐ上げましょう。

フジタ　こんな時間に…。

クラモト　ええ…。さすが、よくわかつてる人たちです。すぐ回してくれましたよ。

フジタ　じゃあ、荷物まとめます。

クラモト　上までで、いいですよ。

フジタ　……行きますよ処分場まで。

クラモト　ずっと帰ってないんでしょ…。

フジタ　……。

クラモト　休んでください。私が引き継ぎますから。

フジタ　あそこの所長は、大学の研究室でお世話になった先輩です…。立

浪さん…。

クラモト　ああ、そうだったんですか…。

フジタ　話しました…？　相変わらず声でかかったですか。

クラモト　ええ、でかかったですね…。

フジタ　……何で嘘つくんですか…。

クラモト　……。

フジタ　何で嘘つくんですか…。

クラモト　……。

フジタ　どつから嘘だったんですか…。

クラモト　……。

フジタ　点検の前から嘘でした…？　やっぱり俺がミスするの読んでま

した…。グローブボックスにまだ大量に残ってるのを知ってモ

ニターカメラ切ったんですか…。

クラモト　……。

フジタ　何なんですか…。倉本さんは…。

間

クラモト 怒りますよね。

フジタ かなしいですよ…。

クラモト 藤田くんは、何がしたかったんですか…。

フジタ は？ それは、

クラモト ああいう実験で、何がしたかったんですか…。見たかったでしよ…。あれの威力を、知りたかったでしよ…。

フジタ …シミュレーションは誰かがやっておかないと…。

クラモト 私も、知りたかったんですよ…。あれで、どれくらいの希望を人に与えられるのか…。希望を持つ人が、います。命よりも大事なもののために危ない橋を渡りたい人がいます…。今朝、辞表を出してきました。もう会社の人間じゃありません。報告書も出してあります。書類上は、もうこれは地球上にないことになりました。藤田くん。あの実験炉のために材料を調達するのって、もう限界だったんですよ…。ギリギリですよ、あれだけやると…。後戻りできないところまで来て、考えましたよ。この人、ミスしなかなあつて。ミスして、私に泣きついてこないかなあつて。君のことを、尊敬してたのに。君のために頑張ってたのに、犯罪者になるのは私です…。でも発見したんですよ。幸せになる方法。行きましょう、フランスへ、二人で。もう一度コンビ復活にしましょう。私の名前を呼んだのはわざとですか。

フジタ わざとです。

クラモト これ以上の話はその人がいなくなってからです。

ヤザキ 大丈夫ですよ…。

クラモト ……。

ヤザキ ……俺、死にますから。

クラモト 今つてのは、なしですか。（ピストルを出す）

フジタ なんでそんな…。

クラモト 色々ありまして。テクノロジーってあれですね。暴力を罪悪感か

ら解き放ちますね。指をちよつと動かすだけでいいって凄いことですよ…。藤田くん、早くしましょう。知ってるでしょ…。環境団体の人たち、トラックも船も追っかけて騒いで、核ジャックが起きても何の責任もとらないってどうかと思いますよほんとに…。

フジタ
あああああああ！

フジタ、クラモトにとびかかり、乱闘する
フジタ、クラモトを押さえつけ、拳銃を奪う

クラモト
藤田くん…。

フジタ
なんですか…。

クラモト
それ、危ないですよ…。

フジタ
…最後の手段だと思ってました…。

クラモト
人に向けちゃいけないんです。

フジタ
倉本さんのギャグはいつも最高です。

クラモト
ギャグなんて一度も、

フジタ
いつてますよ…。なにいつてるんですか…。ギャグだつていつて

くればよかったのに、俺バカだから全部真に受けて…。

クラモト
そんなつもりはなかったんです…。

フジタ
どんなつもりなのかいつてみてくださいよ…！

クラモト
…。

フジタ
すつげえギャグじゃないですか…。(笑う)ノーベル賞、とりた

かったなあ…。倉本さん、ここ笑うところ…。

クラモト
とれますよ…。フランスで、君のためのラボが…

フジタ
それがギャグでなくてなんなんですか…。電気屋さん、笑えます

よねえ…。

クラモト
それはほんとですよ…。

フジタ
ほんとかもしれないですけど、笑っちゃうんですよ…。

ヤザキ 藤田さん。

フジタ はい。

ヤザキ 俺の勝ちー。

フジタ ……電気屋さんの勝ちー。

ヤザキ 賞品は…。

フジタ プルトニウム五キロと五キロで十キロプレゼント…？

ヤザキ わーい。

フジタ それどうするの…。

ヤザキ どーしましょ。

フジタ いらないでしょ…。

ヤザキ なんで？

フジタ いらないでしょ…。これは俺がきちんと処分しますよ。

ヤザキ こつそり。

フジタ いえ、きちんと公表します。

ヤザキ それ困るんだ。

フジタ ええ？

ヤザキ 困るんだな、悪いけど。

フジタ ……悪いと思ってない。

ヤザキ 思ってる。今度は。でも、約束したよね…。

フジタ ……。

ヤザキ、ポケットからカメラを出して一枚撮る。

フラッシュが閃く。

ヤザキ、カメラを滑らせてフジタの足もとに。

フジタ ……。

ヤザキ 持つてつて。俺、開けるよ。二つ開けて、臨界反応つてやつ見て

みるよ。ずっと一緒に寝泊まりして顔見ないのもいやだし。

クラモト、渾身の力でフジタをはねのける。フジタ、撃てない。

クラモト ……さよなら。

クラモト、去る。

SCENE 7.2

フジタ 撃てないな…。撃てないな、畜生…。

ヤザキ、土嚢を掘り返している

フジタ ねえ…。もうちょっと待ってくださいよ…。

ヤザキ、答えない

フジタ 俺まだ死にたくないですからね…。

ヤザキ、答えない

フジタ ねえ。

ヤザキ あ、これだ…。ほんとにあった…。

フジタ ……なんですか。

ヤザキ 二階堂さんの楽譜…。

フジタ あー。俺は見ちゃいけない…。

ヤザキ そうそう…。ここに、二階堂さんのプロポーズと返事がね…。

フジタ マジっすか。

ヤザキ 俺は見えていいのかって話だよな…。

フジタ ダメでしょう…。

ヤザキ ダメだよね…。

ヤザキ、楽譜を置こうとしてやっぱり開く。

ヤザキ 二階堂さん、ごめん！

フジタ 見るんだ。

ヤザキ (吹き出す) 鴻野坂さん、つきあってる人、いるの？ 今日飲みに行こうよ…。

フジタ、ヤザキのカメラを拾う

。

ヤザキ ああつ…。鴻野坂さんの返事長い…。

フジタ、ヤザキを見つめる。

フジタ 名前、なんていうんですったつけ。

ヤザキ (楽譜を読みながら) 矢崎。

フジタ 矢崎さん…。ほんとにやるんですか…。

ヤザキ やりますよ…。

フジタ それは何のためになんですか…。

ヤザキ 何のためにかな…。探してたんだよね…。富士の樹海とか…大

沢橋とか…中央線みたいなじゃなくて…、光が丘団地みたいなのもなくて…どこか…特別な…自分のための場所をさ…。一人つき

りになれて…静かで…綺麗で…何もなくて…ゆつくりと死ねる場

所…。東京で…。ここみたいな場所さ…。やつと一人になれる…。

フジタ ……。

ヤザキ 理由はあつたけど忘れちゃった…。くだらない、さみしい、どうで

もいい理由…。

遠くからサイレンの音

フジタ …！

ヤザキ 急がないと…。

フジタ 矢崎さん、さよなら…！

フジタ、深く一礼して、出ていく

SCENE 7.1 M8 V.U.P

ヤザキ、顔を上げてフジタの去っていった方向を見る。

ヤザキ、楽譜を置いてトランクを土嚢の中に引きずり込む。

ヤザキ 重たいね…。

ヤザキ、引きずり込んだトランクを埋まっているトランクの側に置く。

ヤザキ ……開けちゃいますよ…。

M9 "onepiece" by world's end girlfriend

ヤザキ、埋まっているトランクを開け、もう一つのトランクの中身をぶちまける。中からはいろいろな袋が出てくる

ヤザキ どれがどれなんだか…。

ヤザキ、再び楽譜を拾って腰を下ろす。

ヤザキ 「二階堂さん、ごめんなさい。本当は直接話さなくてはいけないことですが、会うと、私はたぶん何もいえなくなってしまうと思います。きちんと私の考えていることを伝えるにはこれが一番いいのです。」

ヤザキ、トランクから漏れる光に気づく

ヤザキ おお…。

ヤザキ、楽譜に戻る

ヤザキ

「まず、質問への答え。つきあっている人はいません。でも、一緒に飲みにはいきません。ごめんなさい。二階堂さんのことが嫌いなわけではありません。素敵な人だと思います。私は、二階堂さんのことを見ているのが好きでした。とても好きでした。私もヴァイオリンだったら同じパートで練習ができたのにと思っていたくらいです。びつくりしましたか？ それとも、そんなことわかってました？ 今日はだから、二階堂さんのメッセージを読んで頭がぼうつとして、恥ずかしいミスをいっぱいしてしまいました。私一人だけ、中学校の吹奏楽部みたいでした。でも、これを書いてしまつたら明日はもとの私に戻ります。地下五十メートルのホールに集まってくれるお客さんのために、最高の演奏をします。そして、それが最後の演奏になると思います。」

トランクからの光、強くなる。

ヤザキ

「二階堂さんと今夜飲みに行けないのは、もしそれをする私の気持ちが悪く感じてしまいそうだからです。私は、明日のコンサート終わりに、小山さんを指さしてこう叫ぼうと思います。『私は今日でこのオーケストラを辞めます。このくそつたれのせいだ』秘密、守ってくださいか？ 私がそれをためらったときに、軽蔑の眼差しをかけてくれますか？」

ヤザキ、青白い光を浴びている

ヤザキ

「詳しい事情は省きますが、私のお腹には小山さんの子供がいます。もう少しすると、誰の目にもわかる大きさになると思います。事情がどうあれ、私は今、まだ見ないその子がとても可愛いのです。どんなことがあってもこの子を育てて、幸せにするつもりです。それが今の私には一番大切なことです。明日の夜は、東京を離れます。」

ゆつくりと明かりが落ちていく

ヤザキ

「今日は探さないでください。電話には出ませんし、アパートにも帰りません。オーケストラをやめる最後の夜ですから、自分だけの場所で、静かに過ごします。最後の夜は東京のどこかで、二階堂さんのことを考えながらお酒を飲んでいます。こんなことをいう資格はありませんが、愛していましたといわせてください。では、明日。」

NG高鳴り、途切れる。舞台は暗闇に包まれる。

終

reset-N ver.14

200201051900 シアタートラム
200200161400 シアタートラム
200201061900 シアタートラム
200201071400 シアタートラム
200201071830 シアタートラム

作・演出 夏井孝裕

矢崎 鶴牧万里

二階堂 山本尚明

倉本 久保田芳之

藤田 佐藤拓之(双数姉妹)

舞台監督 小野八着 (Jet Stream)

照明 高山隆夫 (Bright)

音響 尾林真理

宣伝写真 御嶽亜由美

AD 篠永洋(taketomo)

制作 秋本独人

※無断使用を禁じます。

上演許可の申し込みはmassigla@gmail.comへお問い合わせください。